

「自治体の広域連携に関する懇談会」の設置について

長野県市長会、長野県町村会、長野県

1 趣旨

- 人口減少、少子高齢化の更なる進展に伴い、特に小規模な市や町村が多い本県において、今後も持続可能な形で行政サービスを提供するためには、市町村間、県・市町村間の連携が一層重要。
- 本県におけるこれまでの取組を踏まえながら、市長会、町村会と県が共同で、将来を見据えた行政課題に対応するための自治体の広域連携について議論する場を設置。

2 構成員

- 市 : 副市長 5人程度
 - 町村 : 副町村長 10人程度
 - 県 : 企画振興部長、地域振興課長、市町村課長
+必要に応じて関係課長、地域振興局企画振興課長
- } うち、1人ずつが共同座長

3 事務局

市長会及び町村会（共同事務局）

4 取組内容（想定）

- これまでの広域連携等の取組の検証
 - 市町村の状況、意向の把握
 - 対象とする行政分野、連携方策の選定、研究
 - 地方制度調査会の調査審議、答申内容の研究
- ※ 年2～3回程度開催（会議、現地調査等）
※ 並行して、市長会、町村会、県それぞれにおいて必要に応じて議論

5 議論内容の取扱い

- 自由な発想で議論することを重視し、会議体としての意見集約や成果の取りまとめは想定しない。
- 適宜「県と市町村との協議の場」において議論の内容を報告し、協議の材料とする。

第17回「県と市町村との協議の場」会議録 抜粋

開催日時：令和元年5月28日（火）15:15～16:55

場所：県庁議会棟第一特別会議室

② 「自治体の広域連携に関する懇談会」の設置について

（羽田長和町長）

色々申し上げたいことはありますけれども、1点だけ。この広域連携の検討の中で、いわゆる行政を合理性や効率性といった一方的な物差しで測ることになりますと、これは市町村合併の推進という議論になりかねませんので、一つ、そういったところに気をつけていただきながら、幅広い視点から議論を深めていただきたいと要望しておきます。

（伊藤企画振興部長）

承りました。そのようにさせていただきたいと思います。他の方はいかがでしょうか、ありがとうございます。では、他にはないようですので、ご了承いただいたものとしまして、今後、市長会、町村会と連携して、取組を進めてまいりたいと思います。

では、議事の意見交換、それから報告について、これまで協議事項ということで議論をしまいったわけですがけれども、この2つを通じまして、知事から何かあればコメントをいただければと思いますけれども。

（阿部知事）

広域連携は、羽田会長のご要請はしっかり受けとめて、決してそういう観点のものではないというのが私の認識であります。先ほど羽田会長にも参加していただいた県と市町村との総合教育懇談会の場でも、例えば図書館機能の連携みたいな話もさせていただきましたけれども、ああした側面での連携・協力のあり方というのは議論すべき点がたくさんあると思いますので、そうしたことをしっかり一緒に考えさせていただきたいと思っていますので、ぜひよろしく願いいたします。

「自治体の広域連携に関する懇談会」 構成市選定（案）

第17回「県と市町村との協議の場」において設置が了承された懇談会の構成市（案）

広 域	市 名	備 考
佐 久 (11市町村)	佐 久 市	広域連合長市 協議の場出席市（理事）
上 小 (4市町村)	—	
諏 訪 (6市町村)	—	
上伊那 (8市町村)	伊 那 市	広域連合長市
下伊那 (14市町村)	飯 田 市	広域連合長市 協議の場出席市（理事）
木 曾 (6町村)	—	
松 本 (8市町村)	松 本 市	広域連合長市 県市長会相談役市
北アルプス * (5市町村)	大 町 市	広域連合長市 協議の場出席市（副会長）
長 野 (9市町村)	長 野 市	広域連合長市 中核市 協議の場出席市（会長）
北 信 (6市町村)	—	

広域市町村数が8団体以上（赤字）の市+大町市*

* 定住自立圏の中心市要件を満たす都市がない圏域